

馬瀬地方自然公園づくり委員会（岐阜県下呂市馬瀬地域）

- 人口1,200人の下呂市馬瀬地域は「日本で最も美しい村」連合に加盟。モデル集落として「馬瀬里山ミュージアム」に代表されるように、農業体験や観光やナ、蛍のビオトープなどを農村観光資源として活用。
- 観光庁広域周遊ルート「昇龍道」の農村体験エリアとして、農業・農村生活体験、山や川での自然体験を通して、森林ー農地ー河川と人の暮らしが調和した自然生態系の維持に地域を挙げてきめ細かに取り組み、「日本の本物の農村・田舎体験」をPR。

【地域の食】



（鮎の塩焼）

○日本で最も美しい村の農村景観、馬瀬川を中心とした新鮮な食材

○清流馬瀬川で育つ「馬瀬川上流鮎」



（朴葉寿司）



（ね寿司）



（トマト）

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	H27（現在）	H32
外国人旅行者	100人	1,000人
うち対象国：	欧米豪...400人	
	シンガポール、香港...300人	
	台湾、韓国...300人	

【周遊ルート】～日本一美味しい村、美しい村づくり～

- 馬瀬里山ミュージアム
 - ・ウォーキング、
 - ・地元住民との交流、食体験



（里山ミュージアム全貌）



- 田舎体験(グリーンツーリズム)
 - ・苔玉づくり、五平もち作り



（ウォーキング）



（地元住民との交流）



（釣り）

- 馬瀬川のかがり火夕食会



（馬瀬川火ぶり漁）



（地元住民との交流）

- 宿泊（農泊、ホテル美輝の里）

富士山麓・伊豆半島食の魅力推進協議会 (静岡県富士山麓・伊豆半島地域)

○静岡県の東部に位置し、世界文化遺産 富士山、世界ジオパーク 伊豆半島、世界農業遺産 水わさびなど世界水準の地域資源と、多彩な農林水産物を有する地域。

○豊かな大地と清らかな水に育まれたわさびやキンメダイ、馬鈴薯、みかん、しいたけ等と郷土料理、豊かな景観、地域の伝統や歴史を体感できる魅力的な旅を提案。

【地域の食】



わさび丼

「わさび丼」のルーツは、江戸時代に遡り、産地ならではの家庭料理として愛されました。近年は郷土料理として知名度が高まっています。



わさび味噌



わさび三杯酢

【周遊ルート】

富士西麓エリア



ニジマス



朝霧高原の酪農体験



富士の茶園景観



富士山本宮浅間大社

富士山と湧水の恵み

西伊豆エリア



西浦みかん寿太郎 (GI)



石部の棚田



堂ヶ島のトンボロ現象



潮かつお

中伊豆エリア

水わさびと歴史の体感



丹那の牛乳



水わさび



伊豆半島ジオパークミュージアム



貴僧坊水神社

伝統を守る郷土の味

箱根西麓・北駿エリア



三島馬鈴薯 (GI)



水かけ菜



柿田川湧水



深良用水

火山の大地の生み出す味

東伊豆エリア



キンメダイ料理



河津桜



大室山



大川三島神社 さんばそう

ジオパークと魚食文化の体感

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI

R1(基準年) R9

外国人宿泊者数 138万人 174万人

外国人旅行消費額 428億円 539億円

大井川農泊推進協議会（静岡県大井川地域）

- 南アルプスを源流とする大井川の水は志太平野・牧之原台地を潤して良質な日本茶を生み出す表情豊かな茶園景観を形成する。駿河湾に流入して豊かな海産物を育む。
- 当地域は歴史ある茶産地ゆえ栽培方法やこだわりの製法による多数の製茶工場がある。多様な茶・和の食と美しい茶園による景観などの大井川が育む地域資源を活用して、観光客の来訪を促進し、農林漁業の振興と地域経済の活性化を図る。

【地域の食】



【お茶】
お茶は、もてなしの席はもちろん、日常生活にも欠かせません。お茶の香味は日中の気分転換を促し、食事の味を引き立てます。



【日本酒】
「磯自慢」など海外からの評価も高い、大井川流域の酒米と伏流水で仕込んだ地酒を製造する酒蔵が域内に5蔵あります。



【焼津ミナマグロ】
焼津港では上品な脂と甘み、色の鮮やかさから「赤いダイヤ」と称される焼津ミナマグロや、鰹などが水揚げされます。

【周遊ルート】

茶畑を走るSLに乗って奥大井へ



富士山静岡空港



KADODE OOIGAWA

賑わい交流拠点
体験型フードパーク



16種のお茶飲み比べ

大井川上流 川根 奥大井へ



おおいなびの100の体験カード



カヤック体験



里山の茶の間



奥大井湖上駅



夢の吊橋



天空の茶園

焼津港方面へ



マグロの水揚げ



桜エビ

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	2018	2024
外国人宿泊者	103千人	107千人

浜松・浜名湖 食×農プロジェクト推進協議会 (静岡県浜松・浜名湖地域)

- 風光明媚な湖や海・川に恵まれ、鮮度を活かした食の提供による観光地域づくりを推進。
- 国内有数の汽水湖である浜名湖はウナギの養殖発祥の地。ウナギやドウマン蟹等多彩な水産物をはじめとした多種多様な食材を味わうことができる他、浜松独自のたきや漁（夜間漁）の体験等を活用したプログラムを提供。

【地域の食】



(ウナギ料理)

○農業、林業、水産業の1次産業が盛ん。

○ウナギやスッポン料理、トラフグ、アサリ、カキ等、産地ならではの「鮮度」を活かした魚介料理。



(ドウマン料理)

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	H28(現在)	H33
外国人旅行者	333,000人	524,000人

【周遊ルート】 四季彩菜 食×農で楽しむ浜松・浜名湖 ～日本のドウマン中で味わう・浜名湖体感メニュー～

株式会社田原観光情報サービスセンター(愛知県田原市)

- 愛知県田原市(渥美半島)には、国が発掘する第1号の遺跡として選ばれた吉胡貝塚を始め、伊川津、保美を含めた3大貝塚など多くの貝塚が存在する。約3,000年前の縄文晩期から現在に至るまで渥美半島に住む人々は大いに貝を食べてきた。
- その渥美半島の貝と、農業産出額日本トップクラスを誇る農業や、色とりどりの花々、青い海や空、緑いっぱいの自然を体感できるプログラムを提供。

【地域の伝統食】



【あさりの押し寿司】

昭和までは、お祝い事のある前の晩には渥美のお母さんは、地のあさを1ヶずつ剥き身にしめます。それを甘辛く炊いて、酢飯にのせて「あさりの押し寿司」を作ります。祭りの日に、運動会にお母さんが必ず手作りする、渥美の“ごつつお”です。

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI(目標)	R4	R8
外国人観光客		
宿泊人数	100人	11,000人
免税取扱い件数	120人	13,200人

【周遊ルート】

3000年前からの歴史を探索



- ・貝塚が多数分布
- ・39種類の貝が見つかる
- ・人骨も複数発見
- ・日本一の貝の島

国が発掘する第1号の遺跡

地域の体験集【たはら巡り~な】



- ・南国フルーツを収穫。ジャングル体験
- ・たくさん実ったミニトマト収穫体験
- ・サーモン養殖場でのおさやり体験
- ・菜の花狩り など

四季折々、田原ならではの農業体験

令和4年4月より温泉配湯開始

- ・湯あたりしにくい優しい温泉
- ・肌をツルツルさせる美肌の湯
- ・クレンジング効果と保湿効果を兼ねあわせた温泉



日本で1番新しい温泉

愛知県田原市

日本でトップクラスの農業生産

- ・全国で約30%の出荷量を誇る電照菊
- ・近年では2年連続農業生産額第二位
- ・常春と言われる温暖な気候と日照時間が長い地域
- ・多種多様作物を生産



花の生産は日本一

南知多農泊推進協議会

(愛知県知多郡南知多町)

- 南知多町は知多半島の最南端にあり、自然豊かな地勢に恵まれ、伊勢湾・三河湾の新鮮な魚介（ふぐ・鯛・牡蠣、たこ、海老等）を味わえる東海圏有数のグルメゾーン。
- 天然温泉や海釣り・漁業体験・イチゴ狩りなどの体験型観光も楽しめる等、四季を通じた観光地。
- 名古屋駅から60分、セントレアからは30分圏内と、アクセスの良さも魅力。

【地域の食】



【篠島の鯛】
絶品の鯛の甘さには、千年の歴史を有する伊勢神宮との深い関わりの物語が隠されていて。。。

【日間賀の蛸】
柔らかくジューシーな日間賀の蛸。島中にある蛸デザインを見つけながらの散策も楽しい

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	R4(現在)	R9
農泊宿泊人数	1,500人	18,000人
体験プログラム販売数	4,200人	30,000人
外国人観光客	195人	7,500人

* R4はコロナ禍により基準値を大幅に下回る

【周遊ルート】



カスタマーエクスペリエンス (「家族で楽しむ旅」オフシーズンの南知多/1泊2日)

15:00 チェックイン 日間賀島・篠島からもう一泊。。



16:00 千年の歴史を感じる天然鯛の調製体験



17:00 天然温泉の露天風呂から夕日を眺める



18:30 自分で調整した鯛を使ったフルコースディナー



21:30 夜の浜辺で夜光虫に出会えるかも・・・



6:00 ビーチを散策、朝日、モーニング・ヨガも



9:00 師豊浜の朝市へ



10:00 砂時計づくりで旅の思い出を封じ込める



13:00 花ひろばのひまわりは12月まで満開



帰宅 または 日間賀・篠島の島めぐりで
もう一泊。。